



ふかさわ
深沢に建っていた当表門（長屋
門）は、ドジ（土間の納屋）とクラ
（板敷きの穀倉）、そして門扉のある
中央通路で構成されています。解体
工事の時に、親柱の上ホゾから「天保
九戌年三月廿六日再建」の墨書が
見つかり、別棟であったドジとクラを
天保9(1838)年に1つの建物（表門）
として再建したことがわかりました。

世田谷区には現存する長屋門が
少なく、当表門は区内では国指定
重要文化財である大場家住宅表門に
次いで古い建物です。また当家に
伝わる古文書類が火災などでほと
んど焼失してしまっていることから、
当表門は谷岡家の歴史を伝える
貴重な資料といえます。



外観



ドジのようす

きゆうたにおかけじゅうたくおもてもん
旧谷岡家住宅表門
世田谷区指定有形文化財